

ご多用の中、学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。令和4年度の集計結果をご報告いたします。なお、自由記述でもたくさんの貴重なご意見をいただきました。実践できることについては、積極的に取り入れて改善を図ってまいります。

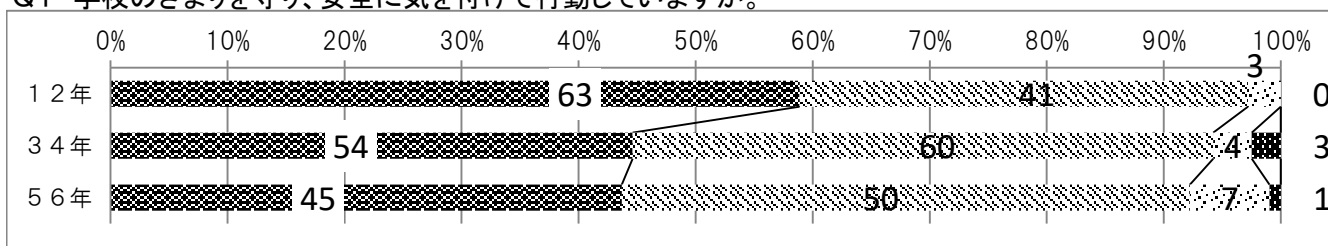
※Aとても思う ※Bだいたい思う ※Cあまり思わない ■D思わない

A. 児童による自己評価

調査期間 令和4年12月19日～23日 集計総数355名（欠席1名）実施率99%

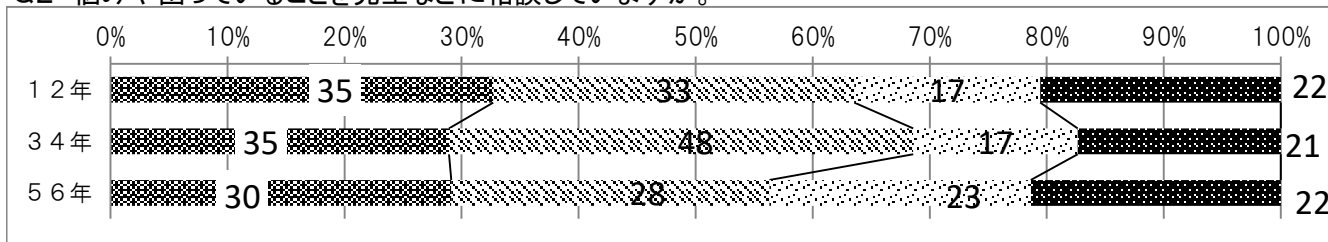
1. 安全安心な学校

Q1 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか。



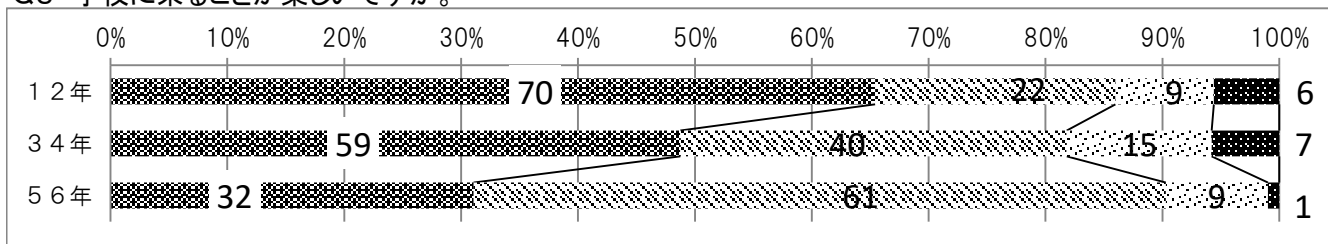
「Q 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が約95%。引き続き、避難訓練や安全指導をはじめ、日常生活での約束事やマナーについて、場面ごとの指導をしていきます。

Q2 悩みや困っていることを先生などに相談していますか。



「Q 悩みや困っていることを先生などに相談していますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が約60%以上。教師への信頼関係をより深めていくために、子供が心を開き安心して相談できる環境作りをしていきます。教師・専科教師・養護教諭・心の相談員・スクールカウンセラー・事務主事など教職員全体が子供の相談相手になる等を実践します。「あまり思わない」「思わない」と回答した児童には、「悩み自体がない」児童も含まれているので、質問項目を工夫します。

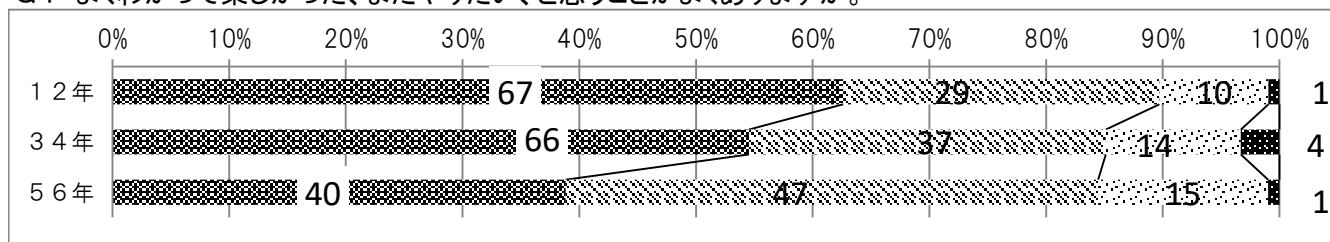
Q3 学校に来ることが楽しいですか。



「Q 学校に来ることが楽しいですか」では、「とても思う」「だいたい思う」が85%以上。一方で「思わない」児童が一定数います。コロナ対策が緩和され、できる活動が増えてくる中、学び高まる楽しさ、わかる楽しさを経験させ、教師が児童一人一人とかがわって悩みや不安を和らげ、より楽しい学校生活が送れるようにしていきます。

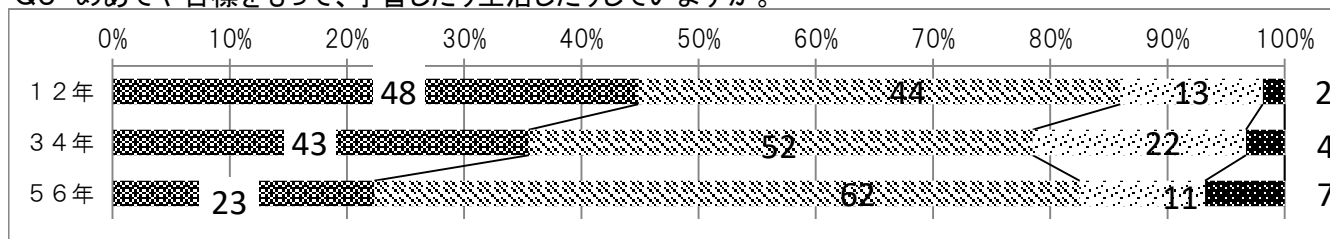
## 2. 新しい教育課程 ～知・徳・体の調和～

Q4 よくわかって楽しかった、またやりたい、と思うことがよくありますか。



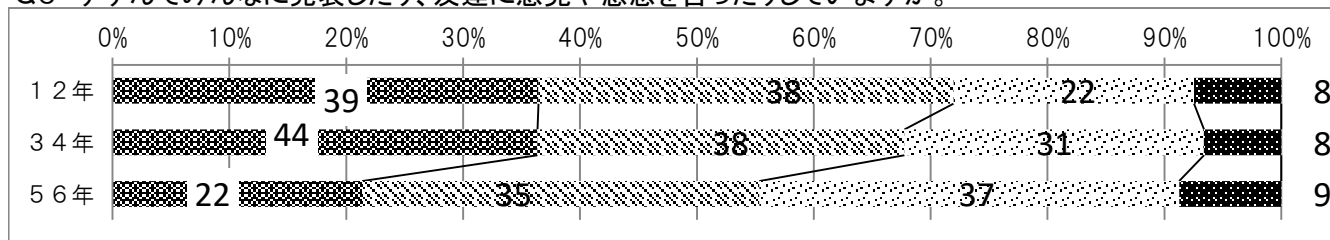
「Q よくわかって楽しかった、またやりたい、と思うことがよくありますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が85%以上。算数の校内研究をはじめ、日々の授業を見直し、「とても思う」と感じる児童をさらに増やせるようにしていきます。

Q5 めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか。



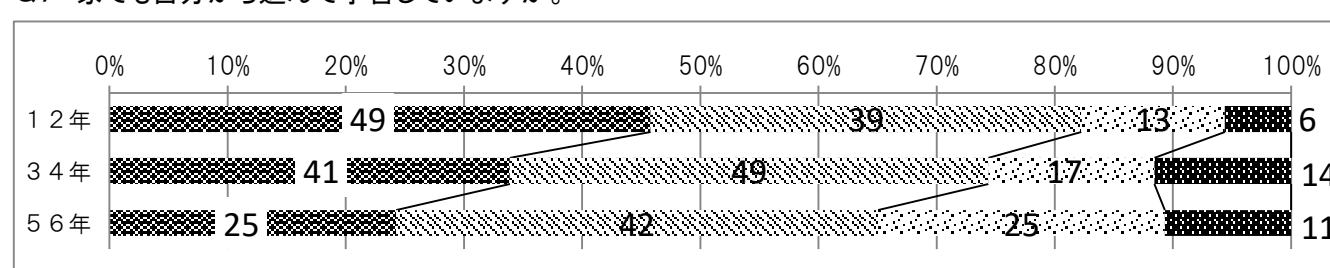
「Q めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が80%以上ですが、「とても思う」が1年～3年の平均が40%以上、4年～6年の平均が約25%となっています。引き続きめあてや目標をもつことの重要性を呼びかけ、「とても思う」と感じる児童を増やしていきます。

Q6 すすんでみんなに発表したり、友達に意見や感想を言ったりしていますか。



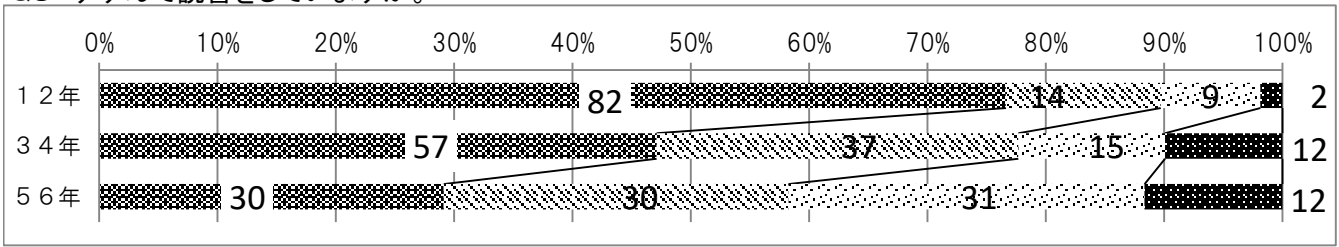
「Q すすんでみんなに発表したり、友達に意見や感想を言ったりしていますか」では「とても思う」「だいたい思う」が約65%。すすんで発表することは、本校の近年の課題です。日常の学習の中で、グループ発表の場を設けるなど、全ての子がすすんで発表できるようにし、成功体験を積ませて、発表への意欲を引き続き高めていきます。

Q7 家でも自分から進んで学習していますか。



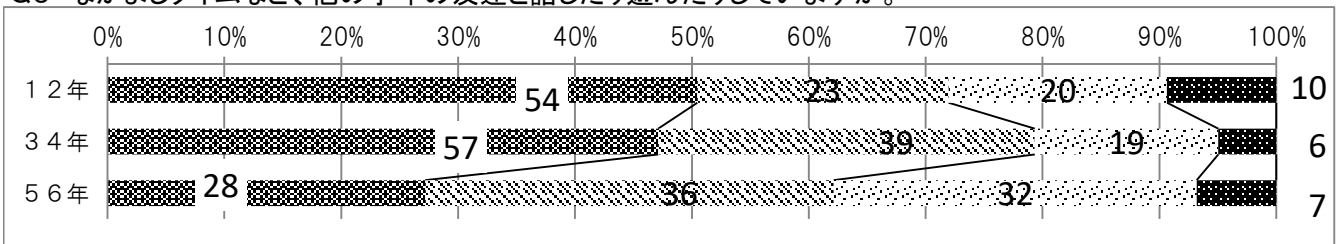
「Q 家でも自分から進んで学習していますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が70%以上。高学年になると「あまり思わない」「思わない」の割合が増えています。学校での学びを家庭学習で習熟する重要性を指導したうえで、家庭と連携しながら児童の意識を高めていきます。

Q8 すすんで読書をしていますか。



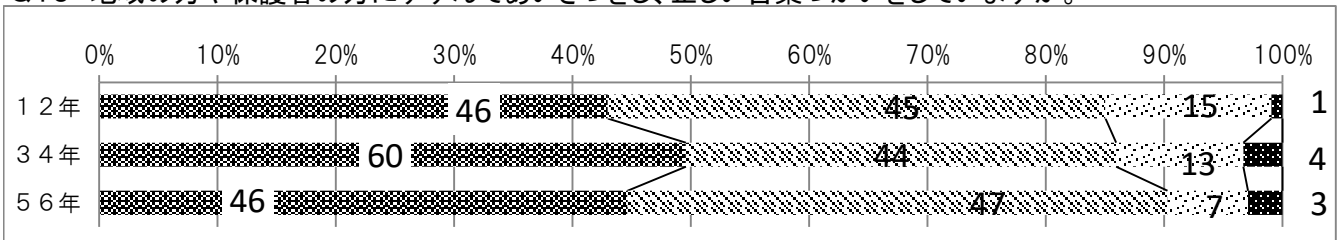
「Q すすんで読書をしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が低学年では約90%ですが、高学年では60%を下回っています。高学年になると多忙になるため読書時間が減少しがちですが、読書旬間、きたえ読書の時間などで読書時間の確保をしていきます。

Q9 なかよしタイムなど、他の学年の友達と話したり遊んだりしていますか。



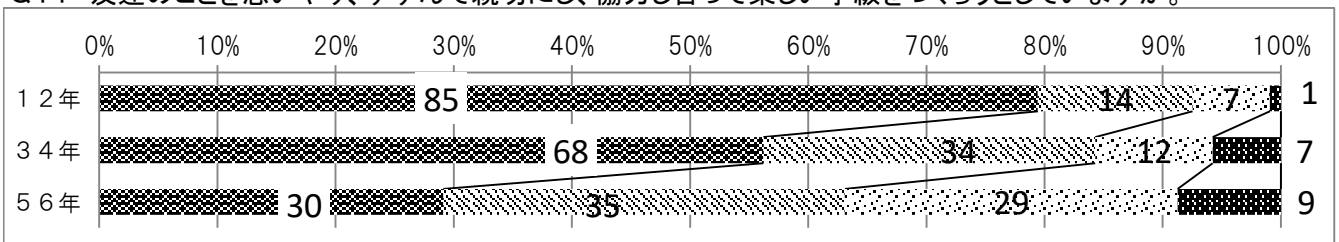
「Q なかよしタイムなど、他の学年の友達と話したり遊んだりしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が70%以上。少しずつコロナ規制が緩和され、異学年での活動がしやすい状況となってきました。行事、委員会、クラブ、仲よしタイムなどを通じて異学年交流を充実させていきます。

Q10 地域の方や保護者の方にすすんであいさつをし、正しい言葉づかいをしていますか。



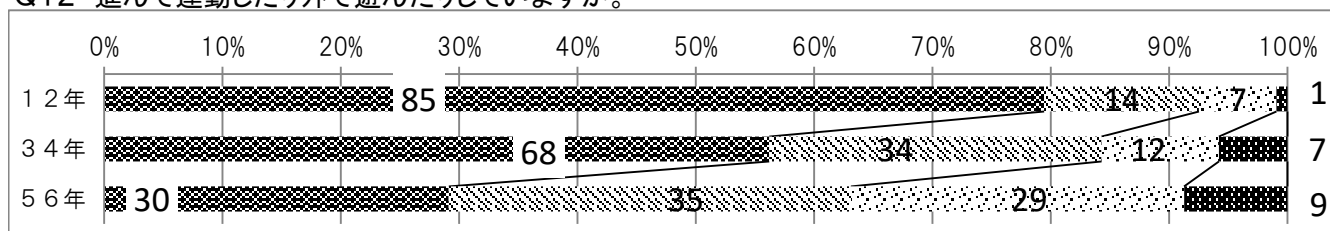
「Q 地域の方や保護者の方にすすんであいさつをし、正しい言葉づかいをしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が85%以上となっています。多くの児童があいさつと言葉遣いに高い意識を持っていることがわかりました。一方で【保護者による評価】4、教育目標「心ゆたかな子」での評価はあまり高くありません。まずは、日頃から教師がお手本となり、代表委員会のあいさつ運動、あいさつ川柳などを通してあいさつの大切さを実感させ、人と人との関わりを大事にしていきます。

Q11 友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力し合って楽しい学級をつくらうとしていますか。



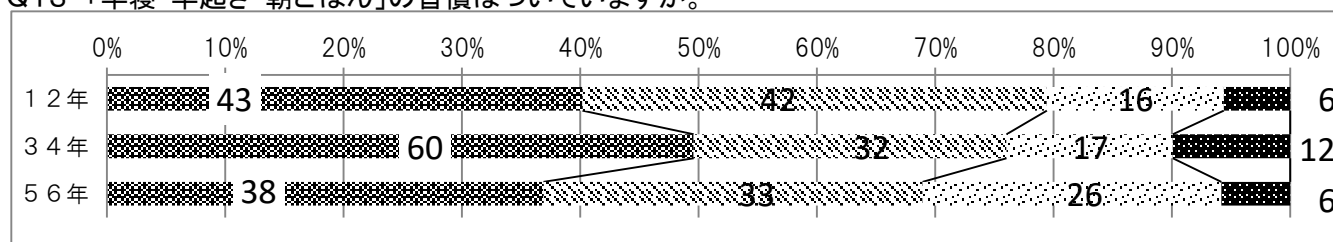
「Q 友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力し合って楽しい学級をつくらうとしていますか」では、「とても思う」「だいたい思う」が90%以上と、どの学年でも高い数値でした。友達と仲よく生活していることがうかがえます。引き続き思いやりや親切にすることの大切さを伝えていきます。

Q12 進んで運動したり外で遊んだりしていますか。



「Q すすんで運動したり外で遊んだりしていますか」では、「とても思う」「だいたい思うが」が80%で、学年が上がるにつれ数値が低くなる傾向です。体育学習の更なる授業改善、運動遊びの継続による体力の向上、休憩時間の保障などにより、運動の楽しさを味わわせ、すすんで運動に親しむ子供を育てていきます。

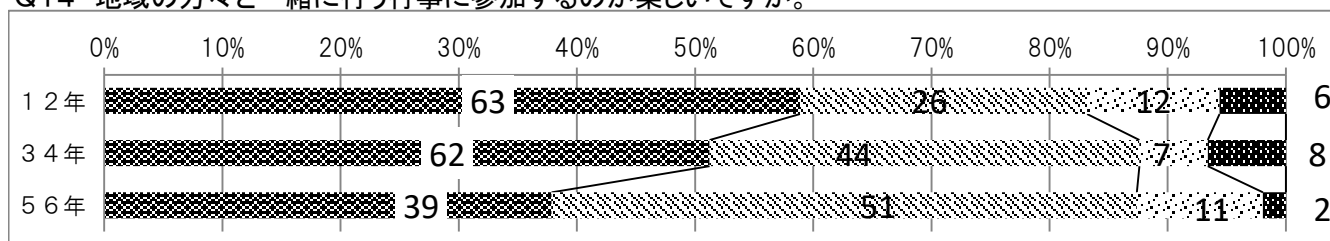
Q13 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣はついていますか。



「Q 早寝・早起き・朝ごはんの習慣は、ついていますか」では、どの学年にも「あまり思わない」「思わない」が一定数いました。早寝・早起き・朝ごはんの習慣は、基本的な生活習慣の基となっているので、是非改善したい項目です。意義を指導し、家庭と連携して定着させます。

3. 外に開かれた学校・地域との連携

Q14 地域の方々と一緒に行う行事に参加するのが楽しいですか。



「Q 地域の方々と一緒に行う行事に参加するのが楽しいですか」では、「とても思う」「だいたい思うが」が85%以上と、昨年の数値を上回りました。今年度から復活した敬老祝賀会での合唱、親子スポーツ大会、もちつき大会でのお囃子や町会についての発表などの体験活動が要因と考えられます。今後も地域に見守られる喜び、地域とかがわる喜びを感じさせていきます。

## B. 保護者による評価・教師による自己評価

保護者による評価 調査期間 令和4年12月 6日～12月16日 集計総数276通 回収率93.9%

教師による自己評価 調査期間 令和4年12月12日～12月21日 集計総数16通 回収率100.0%

◎ 教師による自己評価は4段階、保護者による評価は「わからない」を含めた5段階で評価しました。

◎ 数字は人数です。

◎ 各グラフ右側の数字は、その項目の評価の平均点です。 ※「わからない」は母数から除く

最上段が4年度 2段目が3年度 最下段が2年度

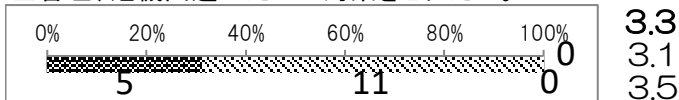
とても思う=4点 だいたい思う=3点 あまり思うわない=2点 思わない=1点

■ Aとても思う ■ Bだいたい思う ■ Cあまり思わない ■ D思わない ■ Eわからない

### 1. 安全安心な学校

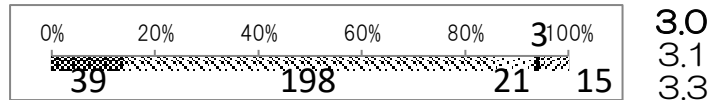
#### 【教師による自己評価】

安全指導、組織的な安全対策など、子供の保健安全管理、危機回避のための対策をとれたか。

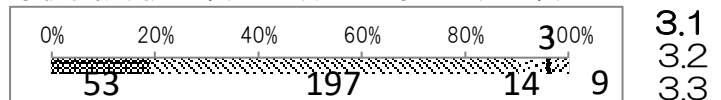


#### 【保護者による評価】

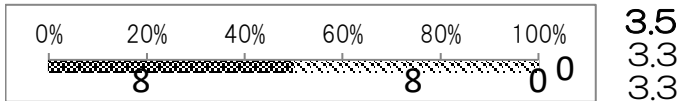
不審者・災害対策、安全指導など、子どもの安全確保のための対策がとられている。



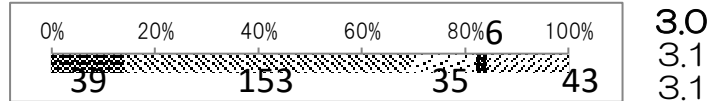
学校施設、教室環境など、安全で学びやすい環境が整っている。



いじめ、問題行動等を予防し、組織的に適切な対応ができたか。



いじめや問題行動に対して、適切な指導が行われている。



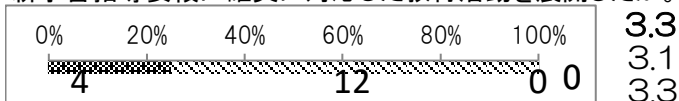
「Q. 安全指導・安全対策」「Q. 安全で学びやすい環境」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の80%以上。より安心できる環境づくりをすすめていきます。

「Q. いじめへの指導」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約70%、一方、「わからない」が全体の15%。いじめへの指導は、デリケートな対応やプライバシー保護が必要な場合があり、全保護者の皆様には伝わりにくい面があります。状況を判断しながら学校組織での取組状況を伝えていきます。また、児童との面談、直接会話をさらに増やし、児童理解、問題の未然防止、即解決の方針、家庭との情報交換、職員間の組織対応、等をキーワードに、いじめを生まない環境づくりを目指します。「練二小はいじめを絶対に許さない」という強い姿勢で、引き続き子供たちを見守り、適切な指導を行っていきます。

### 2. 新しい教育課程

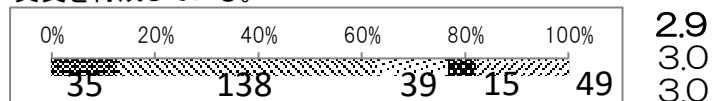
#### 【教師による自己評価】

新学習指導要領に確実に対応した教育活動を展開したか。



#### 【保護者による評価】

効果や価値のある指導を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。

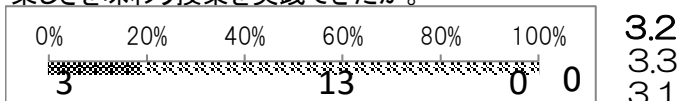


「Q. 新学習指導要領への対応・新しい時代の資質育成」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約63%。教師による自己評価には、新学習指導要領に対応しようとする意識の向上が伺えます。一方、「わからない」が全体の約18%。新しい指導内容の本質をお伝えしていくのは、難しいことでもあります。今後も指導内容の本質をおさえ、ICTを活用するなど、積極的かつ確実に時代を取り入れた指導を行っていきます。

### 3. 教育目標「よく考え行動する子」

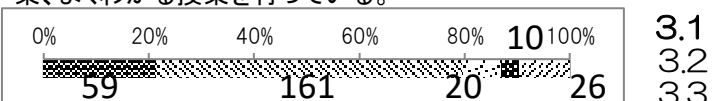
#### 【教師による自己評価】

各教科・領域の基礎基本を確実に定着させ、自ら考え高まる楽しさを味わう授業を実践できたか。

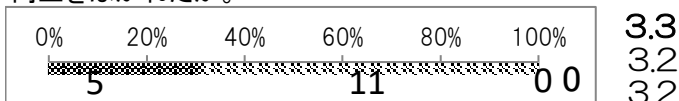


#### 【保護者による評価】

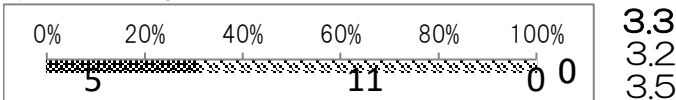
基礎的基本的な学力の定着を図り、高まる楽しさを味わう授業、よくわかる授業を行っている。



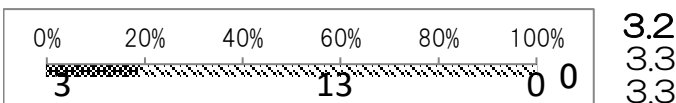
授業改善をめざした研究授業を行い、教師としての力量の向上をはかれたか。



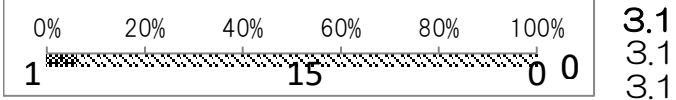
児童のよさを認め励ます指導、一人一人に応じた指導の実践はできたか。



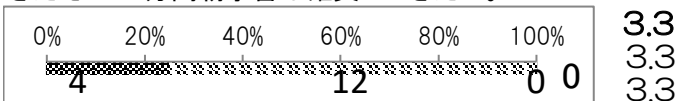
進んで発表し合い、高め合う授業を実践できたか。



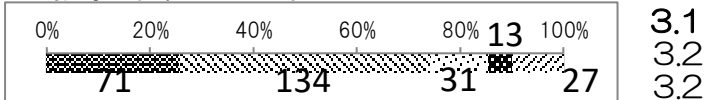
学習規律は定着してきたか。



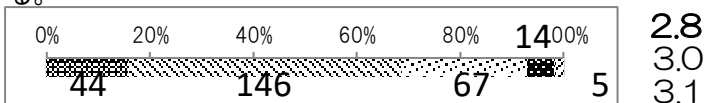
きたえの15分間朝学習は確実にできたか。



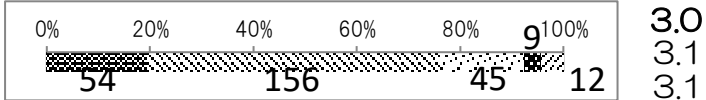
子供のよさを認め励ます指導、個に応じた指導、最後までやりぬく指導が行われている。



話をよく聞き、自分の考えをすすんで発表できる子になっている。



家庭学習が定着するように適切な指導が行われている。



「Q. 基礎基本の定着 高まる楽しさを味わう授業」「Q. よさを励まし、個に応じ、やり抜く指導」「Q. 家庭学習の定着」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の約75%以上。また、「Q. 基礎基本の定着 高まる楽しさを味わう授業」「Q. 授業改善・教師の力量向上」の教師による自己評価には、今年度の取組への一定の評価と同時に、教師の更なる向上意識もうかがえました。本校は令和2年度より、区教育課題研究指定校として算数科の校内研究に取り組んできました。算数科授業を中心に更なる授業改善を図るとともに、授業中の机間指導と個別の声掛けの重視、定着をはかる家庭学習を中心とした家庭との連携、放課後個別指導の充実等、引き続き個に応じた指導を行ってまいります。基礎基本の学力定着のため、家庭学習へのご協力をお願いいたします。「Q. 自分の考えを進んで発表」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が全体の約69%、児童の評価Q6「すすんでみんなで発表したり、友達に意見や感動を言ったりしている」でも約65%となっており、課題と言えます。日常の学習の中で、グループ発表の場を設けるなど、全ての子がすすんで発表できるようにし、成功体験を積ませて発表への意欲を高めてまいります。

「Q. 学習規律の定着」の教師による自己評価には、一定の評価と同時に、更なる指導の必要性もうかがえました。学習規律を定着させてより高い学びができるよう、引き続き取り組んでまいります。

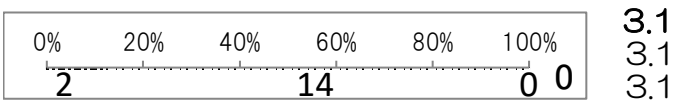
「Q. きたえ学習の確実な実施」教師による自己評価では、どの学年学級でも「きたえ算数」「きたえ国語」「きたえ読書」を確実に実施していることがわかります。特に「きたえ算数」では、子供が自己の課題を把握できるようにし、子供の力を高めてきました。今後も継続します。

引き続き、よさを励ます指導を全ての教師が心がけ、わからなかったことをわかるようにすることで、全ての子供が笑顔で通える学校を目指してまいります。

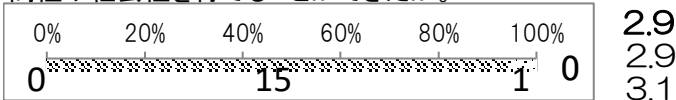
#### 4. 教育目標「心ゆたかな子」

##### 【教師による自己評価】

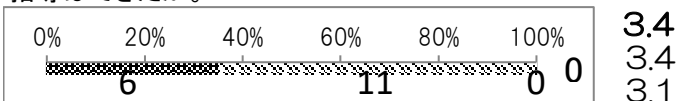
道徳の授業の充実をはかり、豊かな人間性の基礎を耕すことができたか。



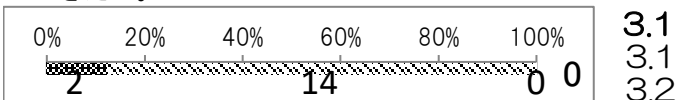
縦割り活動を中心とした異学年の交流を実践し、豊かな人間性や社会性を育てることができたか。



心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導はできたか。

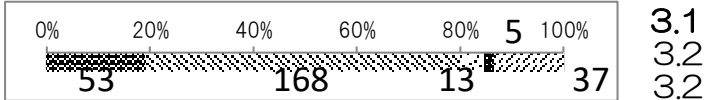


教師の指示の通る学級作り、自浄作用のある学級集団作りができたか。

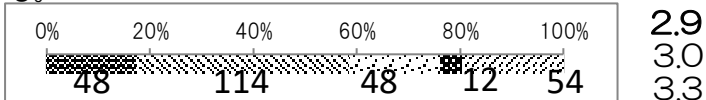


##### 【保護者による評価】

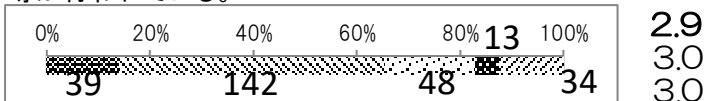
道徳の時間をはじめさまざまな指導を通して心の教育の充実が図られている。



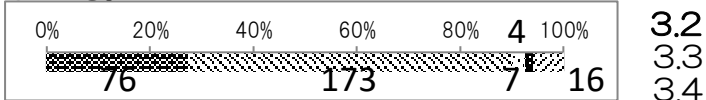
縦割り生活班等を通して異学年の交流が効果的に行われている。



心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導が行われている。



集団生活での細かなルールも守り、友達と協力・共同して活動している。



「Q. 道徳の時間の充実・心の教育」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち80%。一方、「わからない」が全体の13%。今年度、コロナの状況でも可能な限り授業公開を行ってきましたが、保護者の皆様が道徳授業を参観する機会は十分ではありませんでした。令和4年度も、積極的な授業公開、学年だより等での授業紹介、ホームページでの日常の子供の様子紹介等で、お伝えしていきます。

「Q. 縦割り活動・異学年の交流」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち59%。一方、「わからない」が全体の約20%。今年度は、少しずつ縦割り交流が図ることができるようになりました。来年度は、よりいっそう異学年が日常生活で友好的にかかわることができるように本校の特色である縦割り交流の場を設定し、活動を工夫していきます。

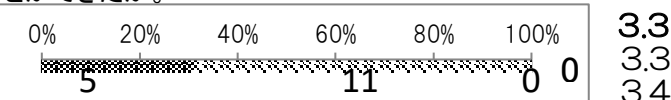
「Q. あいさつや言葉遣い」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち65%。  
 【児童による自己評価】では、児童のあいさつの意識は85%と高く、「子供はあいさつしているが大人の期待ほどではない」「子供の言葉遣いがよいと大人は感じていない」という可能性が考えられます。令和4年度は、代表委員を中心としたあいさつ運動、あいさつ川柳大会など、あいさつへの意識を高める取り組みを全校で行って来ました。引き続き令和5年度も、子供のあいさつ運動を実施するとともに、教師自身が手本となってあいさつやていねいな言葉遣いで子供と接する、教師から積極的にあいさつする、場面を逃がさず指導する、等、全校体制で取り組みます。あいさつの向上には家庭、地域のご協力が不可欠です。ご協力ください。

「Q. 集団生活のルール 協力共同しての活動」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち90%。引き続き高い意識をもてるよう、子供たちをしっかりと見守っていきます。

## 5. 教育目標「健康でたくましい子」

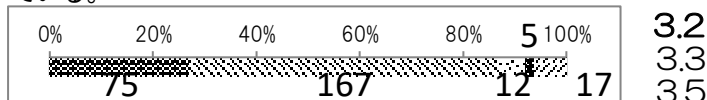
### 【教師による自己評価】

すすんで運動に親しみ健康な身体づくりをする態度を養うことができたか。

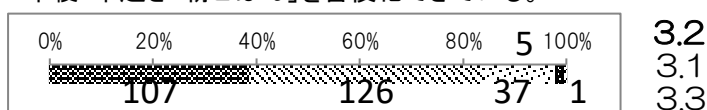


### 【保護者による評価】

保健指導や体育授業等を通して健康な身体づくりに取り組んでいる。



「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化できている。



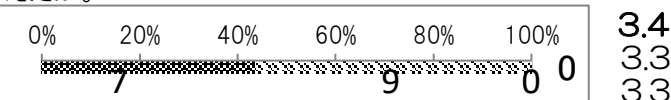
「Q. 健康な身体づくり」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約88%。一方、【児童の夜自己評価】の「Q12. すすんで運動する」では、運動に積極的でない児童が一定数いました。健康な身体づくりの柱は「体育授業」「運動遊び」「体育的活動」です。今年度は、なわとび月間、マラソン月間に取り組みました。令和5年度も、遊びや授業を通して、引き続き運動の楽しさを味わわせていきます。

「Q. 早寝 早起き 朝ごはん」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち84%。一方、全体の13%がよい評価とは言えませんでした。【児童による自己評価】でもお伝えしたとおり、全ての児童がよい評価であってほしい項目です。家庭と連携しながら繰り返し指導していきます。

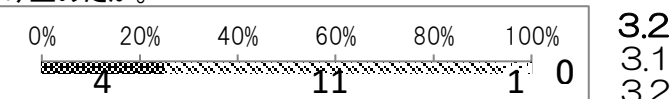
## 6. 外に開かれた学校・地域との連携

### 【教師による自己評価】

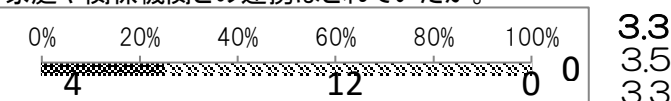
学校公開、学年・学級通信等を通して学校の様子を外へ伝えられたか。



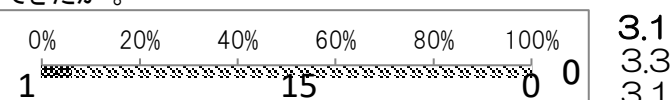
保護者会や感想アンケート等を通して、保護者の意見を受け止めたか。



家庭や関係機関との連携はとれていたか。

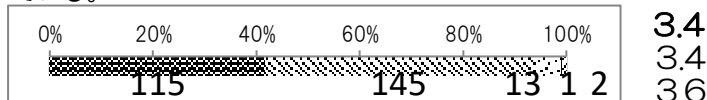


地域の人材活用、地域の教材化、地域行事への参加等ができたか。

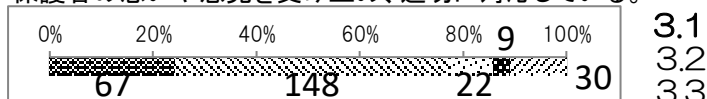


### 【保護者による評価】

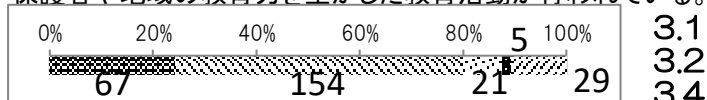
学校公開、行事、学校だより等を通して学校の様子が伝えられている。



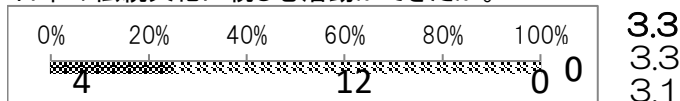
保護者の思いや意見を受け止め、適切に対応している。



保護者や地域の教育力を生かした教育活動が行われている。



日本の伝統文化に親しむ活動ができたか。



「Q. 学校の様子を伝える」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち94%。引き続き令和5年度も、学校ホームページ、学校だより、学年・学級通信の充実を継続し、積極的な公開を行っていきます。

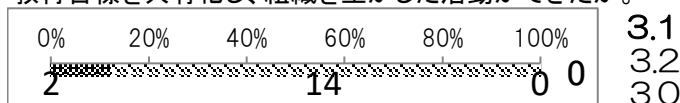
「Q. 保護者の思いを受け止め適切に対応する」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち約78%。「Q. 家庭や関係機関との連携」の教師による自己評価では、今年度の取組への一定の評価がうかがえました。一方、「Q. 保護者の思いを受け止め適切に対応する」における保護者による評価では「あまり思わない」「思わない」が全体の11%。引き続き、保護者の皆様へのていねいな説明・連携や、支援の必要な児童に対する組織的な対応を行ってまいります。加えて、保護者会や個人面談での意見交換、学校評価や行事での意見交流、そして、これらの意見を受け止めた上で学校からの発信を大切に、更に学校を開いていきます。

「Q. 保護者地域の教育力を活かす」では、保護者による評価では「とても思う」「だいたい思う」が4段階のうち80%。コロナの影響で行事や活動が縮減、中止となっていた行事も少しずつ、現状に戻りつつあります。地域の皆様の手をいただいたことが、高い評価につながったと考えています。地域と共に歩む練二小、さらに地域の方に協力いただける学習材の開発、ボランティアの充実をし、保護者地域の教育力を活かした活動やゲストティーチャー授業を行い、その様子をわかりやすく広報してまいります。

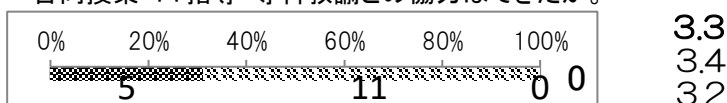
## 7. 内に開かれた学校

### 【教師による自己評価】

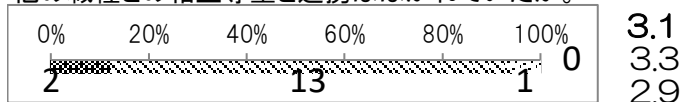
教育目標を共有化し、組織を生かした活動ができたか。



合同授業・TT指導・専科教諭との協力はできたか。



他の職種との相互尊重と連携ははかれていたか。



「Q. 教育目標の共有化と組織活動」の教師による自己評価では、今年度の取組への一定の評価と同時に、教師の更なる意識の向上もうかがえました。「Q. 指導での協力」の教師による自己評価では、教師による一定の評価がありました。今年度も、学習指導を中心とした担任と専科での連携が図れたと考えています。また、「Q. 他職種との相互尊重・連携」の教師による自己評価では、評価が分かれました。今年度も、異なる職種での互いの協力体制、連携を大切に、学校運営をすすめてきました。令和5年度も引き続き『チーム練二』を合言葉に、特別支援教室、生活支援員、心のふれあい相談員、スクールカウンセラー、養護教諭、担任、専科の特別支援での連携をはじめ、栄養士や給食調理との給食での連携、用務主事や事務主事との施設環境面での連携、外部関係機関・保護者・地域との情報連携を確実に行ってまいります。

## C. 保護者による自由記述 ～ 一部をご紹介します ～

- ・漢字やひらがななど細かく指導いただき、これからの土台となる部分をしっかり教育していただいていると思います。
- ・持ち物や提出物の説明がもう少しわかりやすくなると良いです。
- ・誰でも学校に入れる状態なので不審者が学校に入れぬように、もう少し警戒した対策をした方がいいように思います。
- ・生徒が自分に自信を持ち、長所を伸ばせるような教育をしてもらいたい。
- ・毎日の宿題大変ですが、学力の向上になっていると感じます。沢山の教材を毎日用意して下さる先生に感謝しています。
- ・学習の定着の為なのはわかるが、家庭学習の量が多すぎる時がある。
- ・いつもきめ細やかなご指導ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・月の時程予定をもう少し早くいただくことはできないでしょうか？
- ・少人数だからこそ出来ることや配慮していただけることがたくさんあり、練二小に通わせて良かったなと思います。
- ・学校公開は比較的特別な授業(発表会など)を見せていただく機会が多いので、普段の普通の授業の様子も見てみたいなと思いました。
- ・学校のホームページで写真を載せてくださっているので、行事などの様子がわかり有り難いです。
- ・担任の先生が小さな心配や相談をきさくに聞いて下さり、対応を下さり、安心しております。

今回も保護者評価にご協力いただき、深くお礼申し上げます。特に本年は約94%のご家庭から回答をいただくことができました。毎回の行事感想でもご協力いただいているとおり、皆様と共につかっていく練二小です。来年度以降も90%以上の回収率を目指し、いただいたご意見を生かし、引き続き学校改善をしてまいります。令和5年度も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。